

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立本城陸上競技場等3スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	八幡西区御開四丁目16番	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無		ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	スポーツパークパートナーズ本城共同事業体		
	所在地	福岡市南区大池一丁目23番15号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・ 受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・ 清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・ 事業計画書及び収支計画書の提出 ・ 関係機関との連絡調整 ・ 地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・ イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・ 市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日			



## (2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

### [所見]

#### 【施設利用について】

満足度	【参考】 R1 年度	R2 年度	R3 年度
目標値	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	93.2% (37.8%・54.4%)	96.5% (40.8%・52.4%)	98.2% (60.4%・37.8%)

#### 【職員対応について】

満足度	【参考】 R1 年度	R2 年度	R3 年度
目標値	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	96.7% (45.9%・50.8%)	96.7% (45.9%・50.8%)	99.1% (68.5%・30.6%)

※  . . . 評価対象年度

- 施設利用・職員対応ともに満足度が目標数値を上回り、高い評価を得た。
- スタッフ教育を行い、ホスピタリティあふれる接遇を心がけた。また個人情報の適切な取り扱いや暴力団排除を実施した。
- 行事予定をホームページへの掲載、競技場掲示板への張り出し、3ヶ月予定のチラシを置き、誰もが行事を把握出来るようにした。

## 2 効率性の向上等に関する取組み

### (1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[評価の理由、要因・原因分析]

【維持管理経費】

(単位：円)

区分	【参考】R1年度	R2年度	R3年度	前年度比較
委託料	9,053,241	15,397,690	15,379,760	▲17,930
修繕費	9,415,771	9,697,856	9,851,525	153,669
光熱水費	10,519,398	9,901,710	10,295,860	394,150
人件費	23,606,358	25,938,000	27,027,000	1,089,000
その他経費	10,666,180	3,425,356	2,774,501	▲650,855
合計	63,260,948	64,360,612	65,328,646	968,034

※ ・・・評価対象年度

- 専門・マルチスタッフの常駐と必要な機械の常備で芝生維持管理・野球場年間整備の再委託業務を廃止する事で委託料の削減を行った。
- 清掃業務・設備維持業務等はコンソーシアム企業内で専門スタッフによる管理を行いコスト低減を実現した。

### (2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設使用料収入】

(単位：円)

区分	【参考】R1年度	R2年度	R3年度	前年度比較
陸上競技場(1)	3,694,722	4,542,939	3,008,776	▲1,534,163
野球場(1)	1,889,247	1,749,180	1,881,112	131,932
運動場(1)	497,515	222,890	411,635	188,745
① 実収入計	6,081,484	6,515,009	5,301,523	▲1,213,486

区分	【参考】R1年度	R2年度	R3年度	前年度比較
② 減免額	3,899,153	2,309,579	2,970,483	660,904
③合計(①+②)	9,980,637	8,824,588	8,272,006	▲552,582

※ ・・・評価対象年度

- 前年を下回る収入となったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により施設を休館したことが主な理由となっており、指定管理者の責任によるものではない。
- 各競技団体の専用利用が早く終わった場合など、主催者と協議の上、繰り上げで個人利用開放するなど、陸上競技場の個人利用の促進を行った。
- 野球場の専用利用のキャンセルについて、即座に掲示板やホームページにて告知し空き施設の利用促進を行った。

### 3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

#### (1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

#### 【所見】

- 管理責任者には、陸上競技場や芝生の施工管理に携わり、指定管理者業務の責任者としての経験を持つ者を配置した。
- 内部教育として、陸上競技における備品の名称及び保管場所の教育を実施した。

#### (2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

#### 【所見】

- 安全管理のための指針の作成、全スタッフの巡回による危険箇所の予測・発見、「AED」操作を行う講習の受講、熱中症予防対策の実施（塩飴の無料配布、氷の無料配布、競技場及びミスト散水施設を完備、雷警報機による落雷予防対策の実施を行った）。
- 防犯、防災対策について、きめ細かな巡回（利用状況に応じて実施。3～4回/日程度）、「防災計画」を作成して、年2回の消防・防災訓練を実施した。
- 全ての評価項目について十分な対応がなされている。

## 【総合評価】

### 〔所 見〕

- 利用調整を積極的に行い、施設を有効に活用し、収入確保に貢献した。
- スタッフ教育を行い、ホスピタリティあふれる接遇を心がけた。また個人情報の適切な取り扱いや暴力団排除を実施した。
- 経験豊富な者を責任者に置き、施設を良好な状態に保つとともに、防災や熱中症対策に力を入れ、安全な施設運営に努めた。

### 〔今後の対応〕

- 今後も、施設利用者や各団体等とコミュニケーションを密にし、利用者増、施設の利便性・満足度の向上に努めていただきたい。